

沖縄平和行進参加報告書

全港湾東北地方青年婦人部

塩釜支部塩釜分会 渡辺康太

5月11日から14日の4日間、初めて沖縄平和行進に参加しました。

1日目は三単産結団式と平和学習会が行われました。結団式では、全国から集まった参加者が決意表明をしました。自分も初めてでしたが、全国の参加者が色々な考えを持っていて、色々見て感じて活動に取り組もうと思いました。

平和学習会では、全港湾 中央執行委員長 鈴木誠一さんが「労働運動と平和運動」について話してくれました。労働運動については、資本主義社会において資本家階級に反抗し、労働者が団結して、皆平等になるための社会運動という説明があり、これがなかったら今でも個人の意見などない、不平等な社会であったと思うと、とても大切な運動であったと思いました。

平和運動については、戦争が続き、国民や労働者は平和に暮らせない日々が続いていたが、1945年敗戦により、平和を追求し戦争を放棄する民主主義の国となりました。現在、社会保障制度もつくられ、自分たちは団結し、安心して生活できる社会を守ることが求められていると思いました。

2日目はひめゆり資料館～旧海軍豪の視察をしました。

ひめゆり学徒隊の必死で生きようとする思いを知ることが出来ました。中には自殺する人もいたそうで、初めて聞いた話でしたが、この事実を忘れることの無いようにしたいと思いました。旧海軍豪では、昔のまま残っていて、貴重な物を沢山見られました。

3日目の平和行進は、糸満市役所からひめゆりの塔まで行き、平和祈念公園までの行進で約10km歩きました。シュプレヒコールをあげ続け、何回か右翼の人たちが来ましたが、それでも声を上げ最後まで行進することが出来ました。平和祈念公園についたときは、すごく疲れながらも、達成感がありました。1日だけの行進でしたが、とてもいい経験になりました。

沖縄平和行進を終えて、沖縄の歴史や問題を多く学ぶことが出来ました。皆、同じ気持ちで沖縄の問題を深く受け止めて行かないといけないことと、それを知らない周りの人にも伝えていきたいと思いました。とてもいい経験ができました。